

平成26年度 第3四半期報告の概要

<主要指標>

・ 保険料等収入	…	2兆5,660億円	(前年同期比 7.2%減少)
・ 基礎利益	…	3,346億円	(前年同期比 6.3%増加)
・ ソルベンシー・マージン比率	…	1,041.8%	(前年度末差 96.3ポイント増加)
・ 実質純資産額	…	8兆6,897億円	(前年度末差 2兆2,516億円増加)
・ 一般勘定資産全体の含み損益	…	5兆4,652億円	(前年度末差 2兆106億円増加)
・ 時価のある有価証券の含み損益	…	5兆1,412億円	(前年度末差 1兆9,708億円増加)

1. 契約業績

- ◇ 保険料等収入は、銀行窓販チャネルにおける一時払終身保険の販売量を計画的に抑制していることから、2兆5,660億円と前年同期比7.2%の減少。
なお、計画に対しては上回る水準を確保
- ◇ 新契約年換算保険料は1,269億円と前年同期比6.6%の減少
 - ・ 営業職員チャネルは708億円と前年同期比2.5%の増加
 - ・ 第三分野業績は6月に発売した「ベストスタイル」「メディカルスタイル」の販売が好調なことから、248億円と前年同期比26.7%の増加
- ◇ 保有契約年換算保険料は、2兆1,330億円と前年度末比0.4%の増加

○ 保険料等収入の状況

(単位：億円)

	平成26年度		平成25年度
	第3四半期累計期間	前年同期比	第3四半期累計期間
保険料等収入	25,660	△7.2%	27,665
うち個人保険・個人年金保険	16,581	△9.8%	18,385
うち営業職員チャネル	9,804	0.7%	9,734
うち銀行窓販チャネル	6,411	△22.3%	8,249
うち団体保険・団体年金保険	8,736	△2.0%	8,916

○ 新契約年換算保険料の状況（個人保険・個人年金保険）

(単位：億円)

	平成26年度		平成25年度
	第3四半期累計期間	前年同期比	第3四半期累計期間
新契約年換算保険料	1,269	△6.6%	1,358
うち営業職員チャネル	708	2.5%	691
うち銀行窓販チャネル	541	△16.2%	646
うち第三分野	248	26.7%	195

(注) 第三分野は、医療保障給付、生前給付保障給付、保険料払込免除給付等に該当する部分を計上

○ 保有契約年換算保険料の状況（個人保険・個人年金保険）

(単位：億円)

	平成26年度		平成25年度末
	第3四半期会計期間末	前年度末比	
保有契約年換算保険料	21,330	0.4%	21,252

《ご参考》クオリティ指標の状況

○ 解約・失効の状況（個人保険・個人年金保険）

（単位：億円、％）

	平成26年度		平成25年度 第3四半期累計期間
	第3四半期累計期間	前年同期比（差）	
解約・失効年換算保険料	536	1.8%	527
解約・失効率	3.40	△0.11ポイント	3.50

（注）解約・失効率は、契約高ベースで、年換算していない数値として算出しています。

○ 総合継続率の状況（個人保険・個人年金保険）

（単位：％）

	平成26年度		平成25年度 第3四半期累計期間
	第3四半期累計期間	前年同期差	
13月目総合継続率	93.6	0.1ポイント	93.5
25月目総合継続率	85.9	△0.9ポイント	86.8

（注）総合継続率は、契約高ベースにて算出しています。

2. 収益性指標

◇ 基礎利益は、利息及び配当金等収入の増加により3,346億円と、前年同期差197億円の増加（前年同期比6.3%増加）

○ 基礎利益

（単位：億円）

	平成26年度		平成25年度 第3四半期累計期間
	第3四半期累計期間	前年同期差	
基礎利益	3,346	197	3,149

《ご参考》

○ キャピタル損益

（単位：億円）

	平成26年度		平成25年度 第3四半期累計期間
	第3四半期累計期間	前年同期差	
キャピタル損益	1,337	△200	1,538
有価証券売却損益	1,818	△114	1,933

3. 健全性指標

- ◇ ソルベンシー・マージン比率は、有価証券の含み益の増加等により、1,041.8%と1,000%を上回る水準を引き続き確保
- ◇ 一般勘定資産全体の含み損益は、株価の上昇、国内外金利の低下、円安の進行により、5兆4,652億円と前年度末から2兆106億円の増加

○ ソルベンシー・マージン比率

(単位：億円、%)

	平成26年度		平成25年度末
	第3四半期会計期間末	前年度末差	
ソルベンシー・マージン比率	1,041.8	96.3ポイント	945.5
ソルベンシー・マージン総額(A)	68,791	13,499	55,292
リスクの合計額(B)	13,205	1,509	11,695

(注1) ソルベンシー・マージン比率 = (A) / (1/2 × (B)) × 100

(注2) 平成26年度第3四半期会計期間末は、法令等に準じて当社が合理的と判断する方法で算出しています。

○ 実質純資産額

(単位：億円、%)

	平成26年度		平成25年度末
	第3四半期会計期間末	前年度末差	
実質純資産額	86,897	22,516	64,380
一般勘定資産に対する比率	24.7	5.5ポイント	19.2

(注) 平成26年度第3四半期会計期間末は、法令等に準じて当社が合理的と判断する方法で算出しています。

○ 内部留保等

(単位：億円)

	平成26年度		平成25年度末
	第3四半期会計期間末	前年度末差	
内部留保等	24,003	2,948	21,054

○ 一般勘定資産全体の含み損益

(単位：億円)

	平成26年度		平成25年度末
	第3四半期会計期間末	前年度末差	
一般勘定資産全体の含み損益	54,652	20,106	34,545
うち時価のある有価証券	51,412	19,708	31,704
うち公社債	18,703	7,647	11,055
うち株式	20,728	6,110	14,617
うち外国証券	11,487	5,796	5,690

(注) 有価証券には、金融商品取引法上の有価証券として取り扱うことが適当と認められるもの等を含んでいます。

○ 国内株式含み損益ゼロ水準

	平成26年度		平成25年度末
	第3四半期会計期間末		
仮に当社ポートフォリオが日経平均株価およびTOPIXにフル連動するとした場合			
日経平均株価ベース	7,800円程度		7,800円程度
TOPIXベース	630ポイント程度		630ポイント程度

(注) なお、株価指数と当社ポートフォリオの過去の連動性を用いて算出した場合、日経平均株価7,900円程度、TOPIX630ポイント程度です。